



MSD42-28001/2 イルミルーフスポイラー

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ イルミルーフスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	型式	備考
MSD42-28001-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン(070)	ノア / ヴォクシー	MZRA9#W ZWR9#W	
MSD42-28001-A1	プラチナホワイトパールマイカ(089)			
MSD42-28001-C0	アティチュードブラックマイカ(218)			
MSD42-28001-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン(220)			
MSD42-28001-C2	ニュートラルブラック(229)			
MSD42-28002-NP	未塗装品			

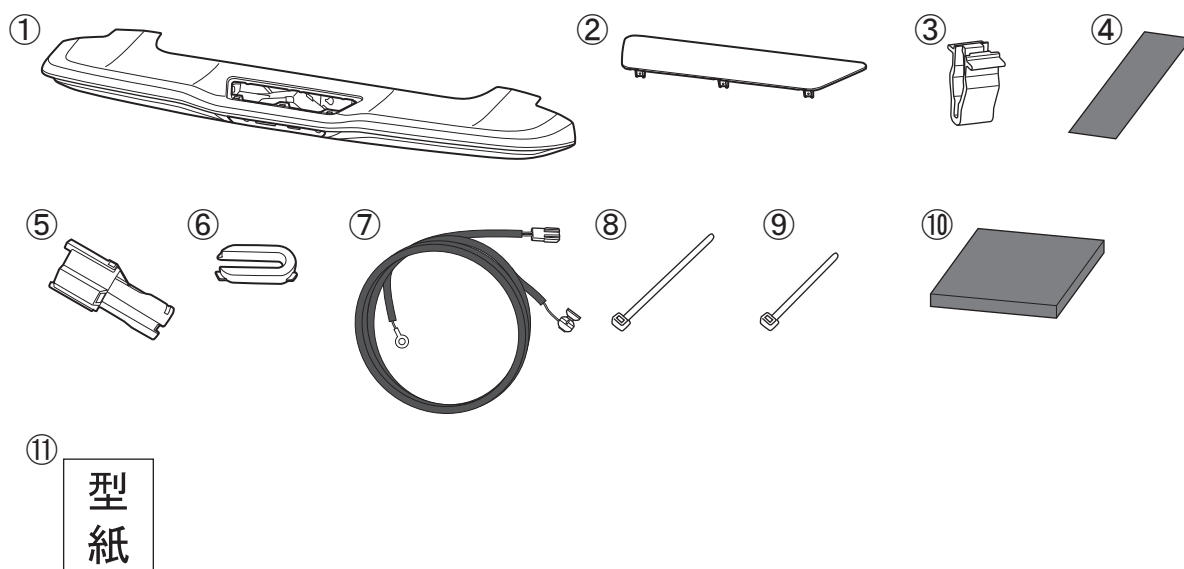
・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

■ 構成部品

No.	品名	品番	個数	備考
①	イルミルーフスポイラー		1	
②	カバー		1	
③	クリップ		3	
④	不織布テープ		2	20×60
⑤	コネクターハウジング		1	
⑥	コネクターホルダー		1	
⑦	電源ハーネス		1	
⑧	結束バンド 大		6	150mm
⑨	結束バンド 小		1	80mm
⑩	クッション		1	
⑪	型紙		1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ⊘ ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⊘ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

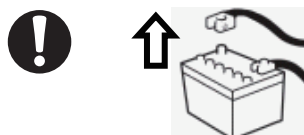
- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので60℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

イルミルーフスポイラー配線取り付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



取り付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。

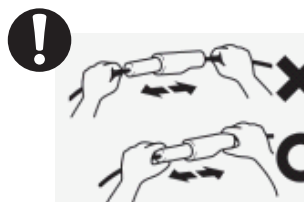


部品を取り付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

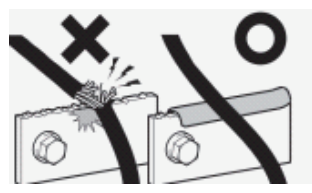


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

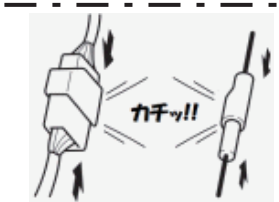


配線の取りまわしは

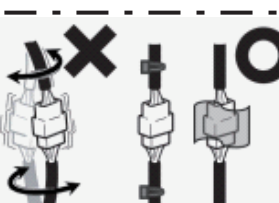
- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理な力で引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がないように、確実に固定する。

⚠ 注意

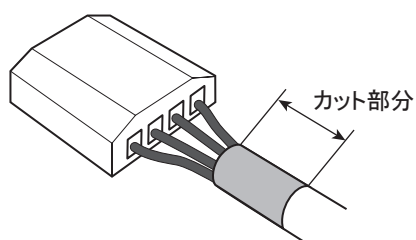
- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ エレクトロタップの接続方法

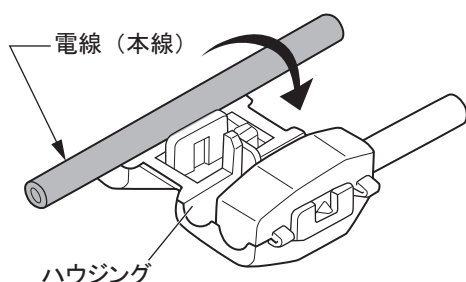
【使用上の注意】

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷つけないように十分注意してください。
- (2) 他の用品コネクタと重ならないように車両ハーネスに接続してください。
- (3) 本書巻末の配線図を参考に接続するコネクタの端子番号および、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないように十分注意してください。
- (4) 同一コネクタに複数のハウジングを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (5) 一度使用したハウジングは再使用しないでください。誤って接続した場合、ハウジングを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

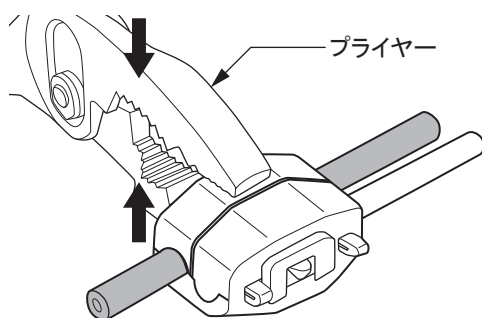
接続手順



- ①接続する車両ハーネスがビニールチューブ、ビニールテープおよびコルゲートチューブで覆われている場合は、適量をカットしてください。

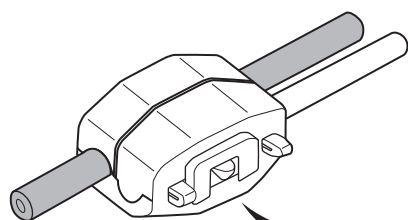


- ②電線をハウジングにまっすぐおき、矢印の方向にたまたみ重ねてください。

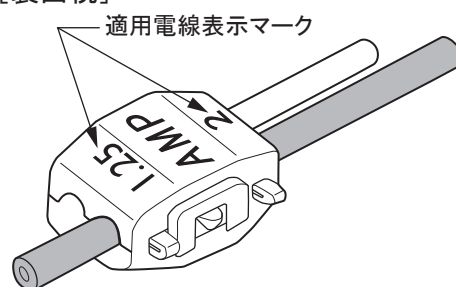


- ③プライヤーで左図のように挟んでハウジングの電線が収まることを確認しながらハウジング同士が接触するまで挟み込んでください。
- ④ロッキングが完全に働いていることを確認してプライヤーを外してください。

【電線接続完了図】



【裏面視】



■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図	1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）	3
3. イルミルーフスポイラー配線取り付け上の注意事項	4
4. エレクトロタップの接続方法	5
5. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図	6
6. 取付準備、取付要領	7～13
7. 取付完了後の点検・注意事項	13
8. 未塗装品の取り扱いについて	14
9. 配線図	15

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・プライヤー・保護メガネ・タッチアップペイント
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/9.0mm/12.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・ビニールテープ（耐熱）・養生テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

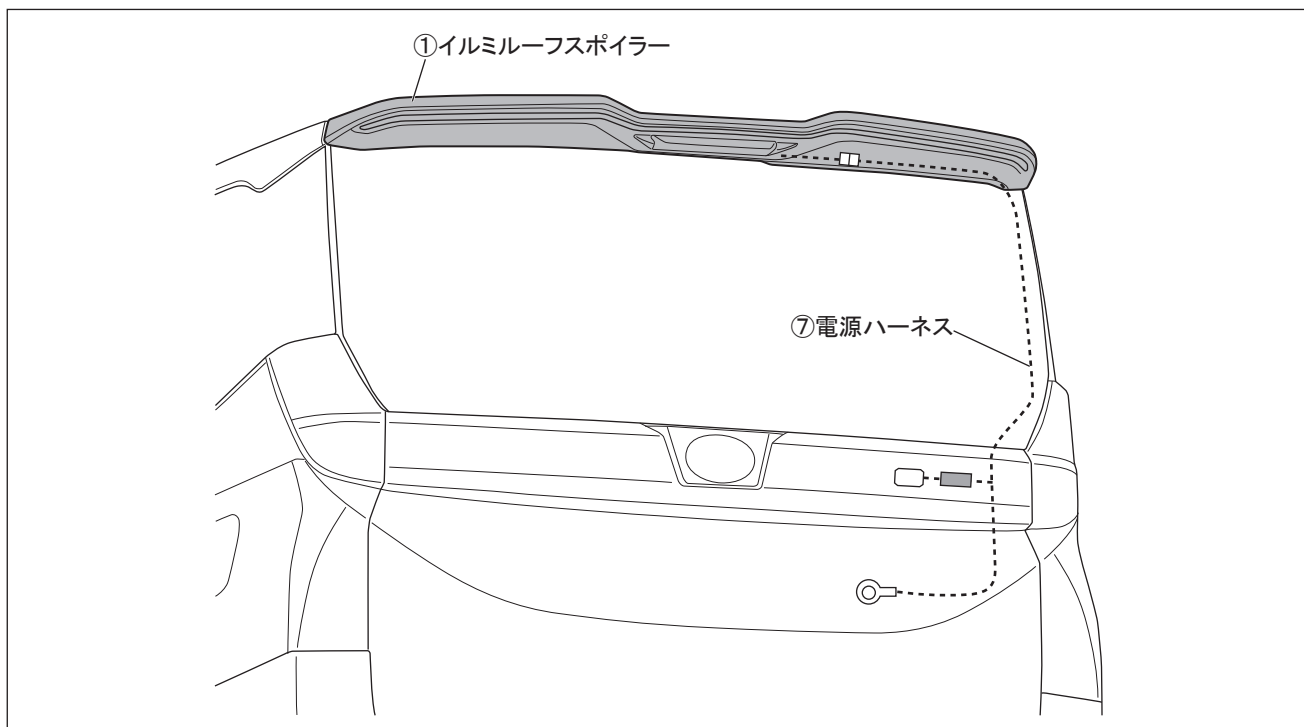
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



■ 取付準備、取付要領

□ イルミルーフスポイラー取付準備

【配線作業】

1. バックドアを開けた状態でバッテリーのマイナス端子を取り外す。

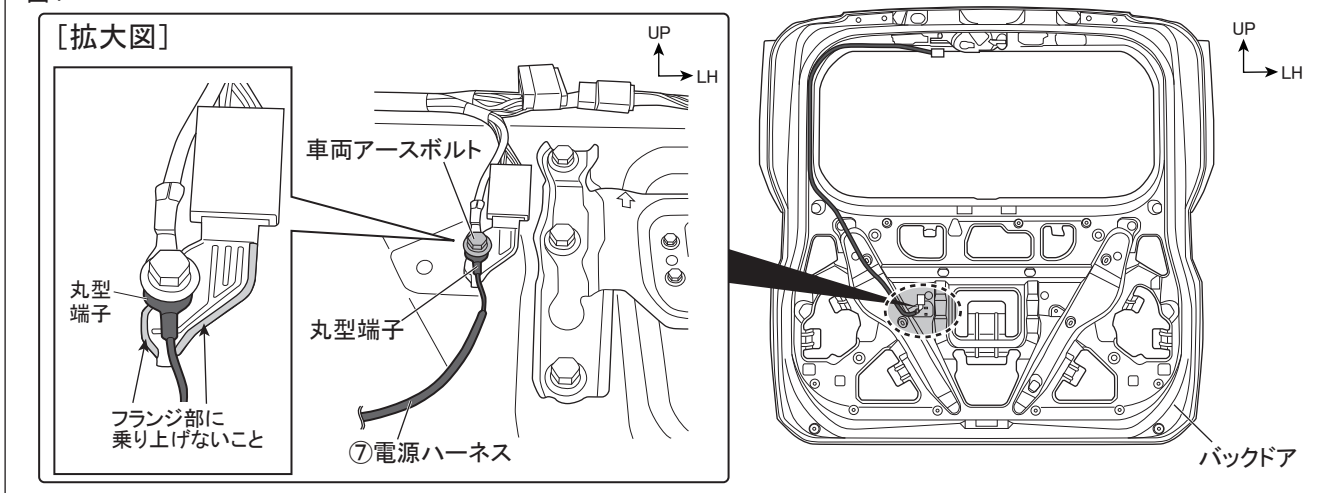
⚠ 注意：バックドアがロックしないようにストライカーに布等を巻いてください。

2. 該当車両の修理書に従い、バックドアからトリムカバーを取り外す。

⚠ 注意：取り外した車両部品、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

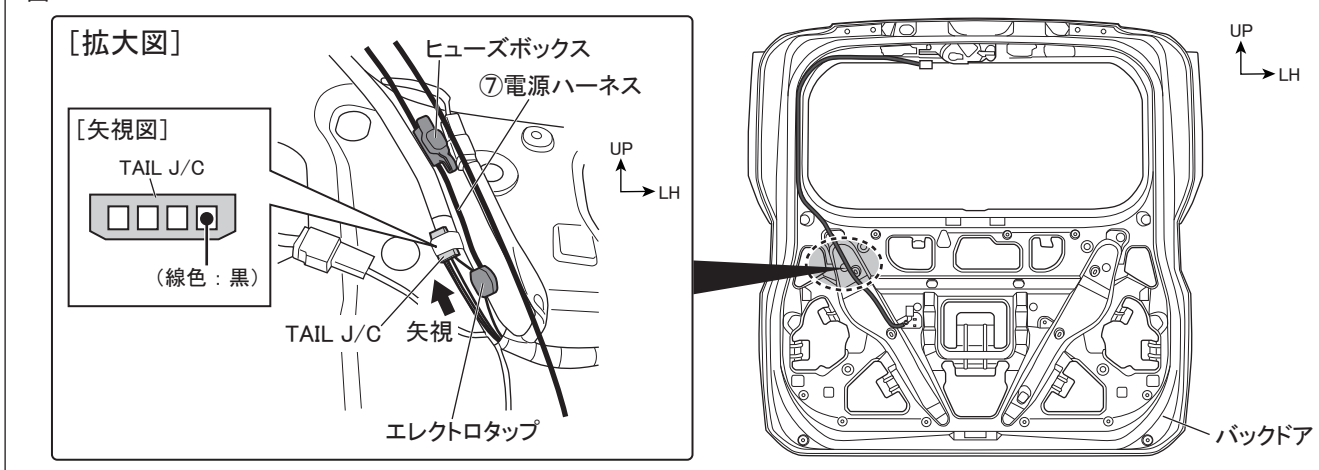
3. 図1のように車両バックドアのボディアースに⑦電源ハーネスの丸型端子を車両アースボルトで共締めし、指定トルクで本締めする。(1箇所) [車両アースボルト締め付けトルク：10.0N・m]

図1



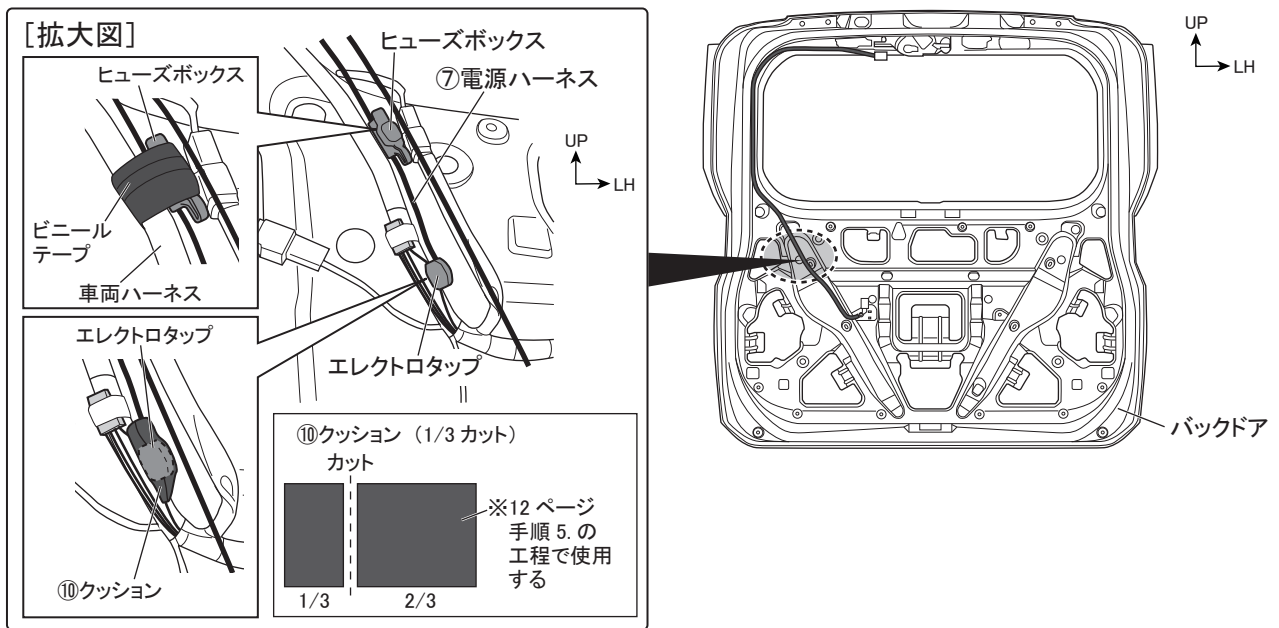
4. 図2のように車両バックドアの TAIL J/C につながる車両ハーネスに⑦電源ハーネスのエレクトロタップを取り付ける。(1箇所)

図2



5. 図3のように⑦電源ハーネスのヒューズボックスをビニールテープ等で車両ハーネスに巻き付ける。(1箇所)
 6. 図3のように⑦電源ハーネスのエレクトロタップに⑩クッションを1/3にカットして巻き付ける。(1箇所)

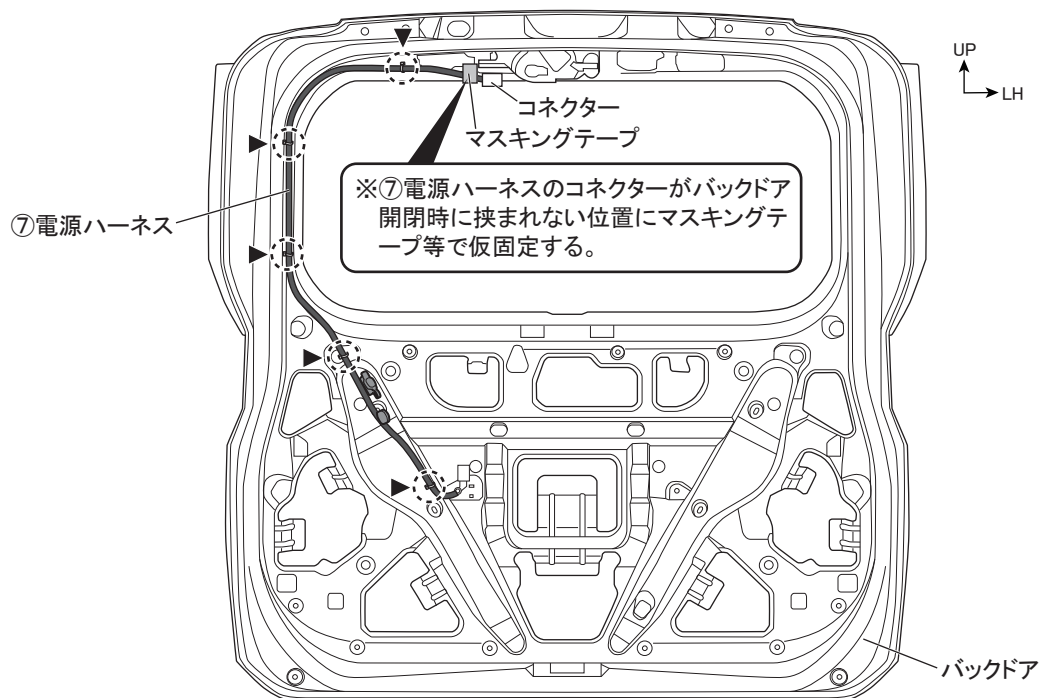
図3



7. 図4のようにバックドアに⑦電源ハーネスを配策し、⑧結束バンド 大で仮固定する。(5箇所)

図4

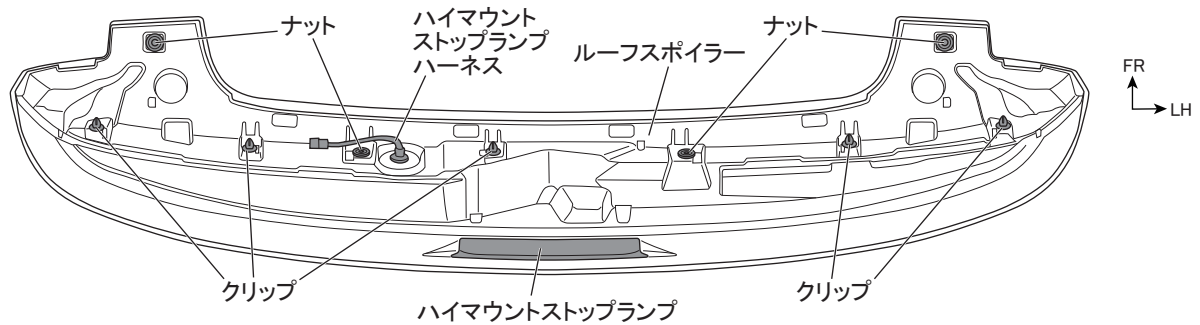
⑧結束バンド 大 : 5箇所 (▲)



【車両部品の取り外しと移設作業】

1. 該当車両の修理書に従い、バックドアから車両ルーフスポイラーを取り外す。
2. 図5のように該当車両の修理書に従い、車両ルーフスポイラーからハイマウントストップランプ、クリップ（5箇所）、ナット（4箇所）を取り外す。

図5

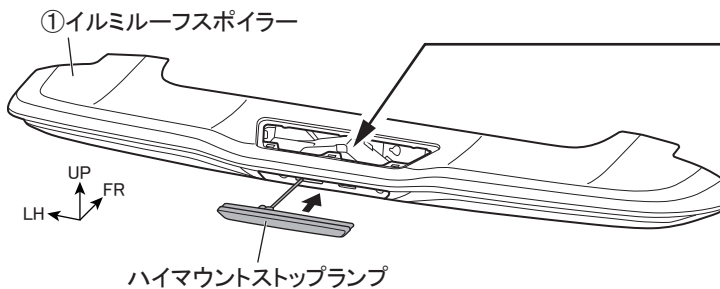


△注意：取り外したハイマウントストップランプ、車両スクリュー、車両ナット、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意：ハイマウントストップランプのハーネスは、無理に引っ張ると断線するおそれがある為、慎重に取り外してください。

3. 図6のように①イルミルーフスポイラーにハイマウントストップランプを移設し、ハーネスを内部に通してグロメットを取り付ける。

図6



[内部拡大図]

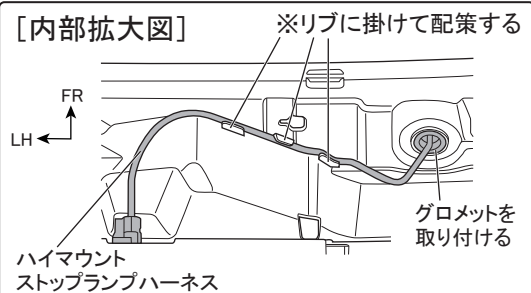
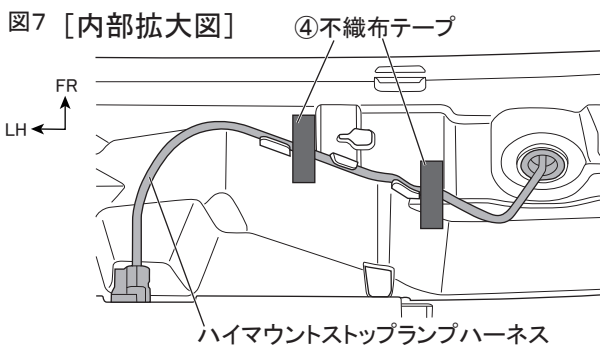


図7 [内部拡大図]



4. 図7のように④不織布テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂し、①イルミルーフスポイラー内部に配策したハイマウントストップランプハーネスに④不織布テープを貼り付ける。(2箇所)

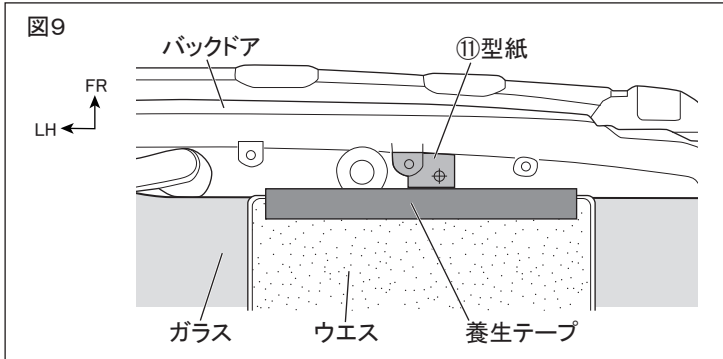
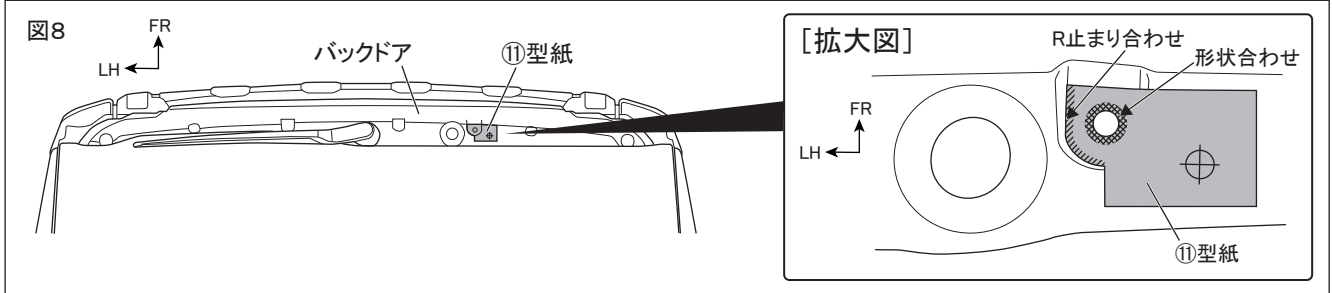
5. 車両ルーフスポイラーから取り外したクリップ（5箇所）、ナット（4箇所）を①イルミルーフスポイラーに車両ルーフスポイラーと同位置に移設する。

△注意：②カバーは取り付けないでください。

②カバーの取り付けは、①イルミルーフスポイラーを車両に取り付け、ハイマウントストップランプの点灯確認後に行います。

【バックドア穴あけ作業】

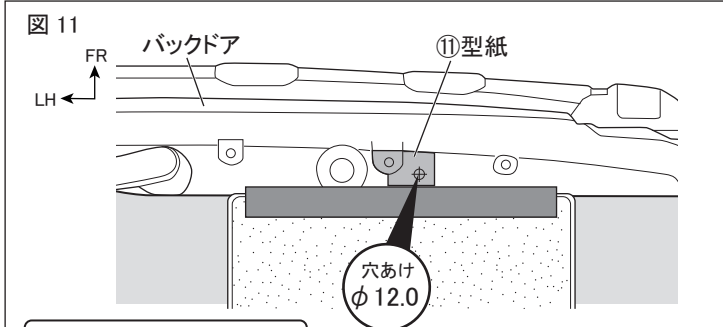
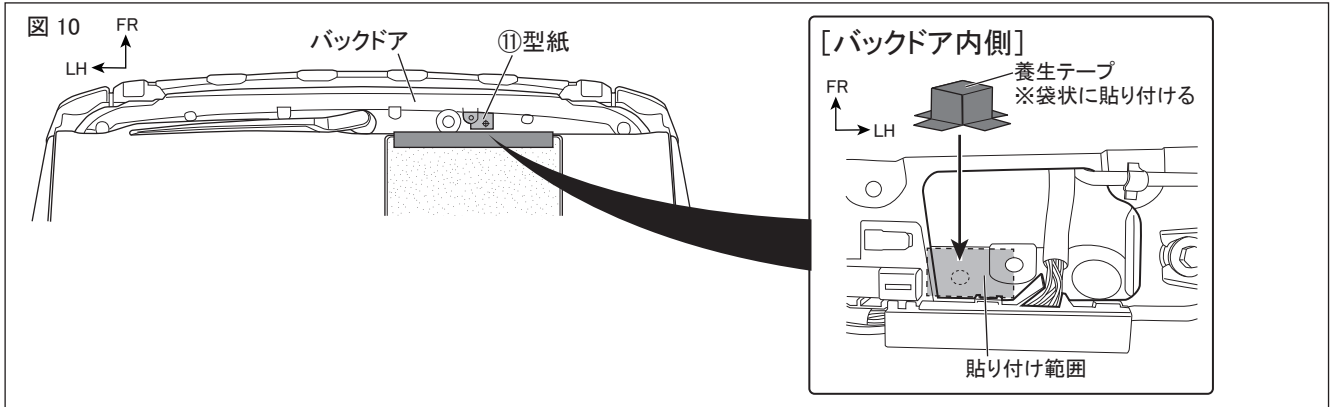
1. 図8のように⑪型紙を車両バックドアに貼り付ける。(1箇所)



2. 図9のように養生テープ、ウェス等でバックドアガラスの末端を保護する。

△注意：バックドアガラスの保護を怠ると工具が接触した際に破損するおそれがあります。

3. 図10のようにバックドア内側（⑪型紙穴あけ部背面）に養生テープを袋状に貼り付ける。(1箇所)



4. 図11のようにバックドアの⑪型紙の穴あけ位置に合わせて下穴φ3.0→φ6.0→φ9.0の順であけ、φ12.0の本穴をあける。(1箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

5. ⑪型紙を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。

△注意：穴周囲のバリが残っているとグロメットの挿入性が悪くなります。

6. 穴あけ時の切粉を除去して養生テープを剥がし、加工穴周囲をタッチアップ等で防錆処理を施す。

穴あけ

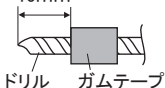


下穴：φ3.0→φ6.0→φ9.0
本穴：φ12.0

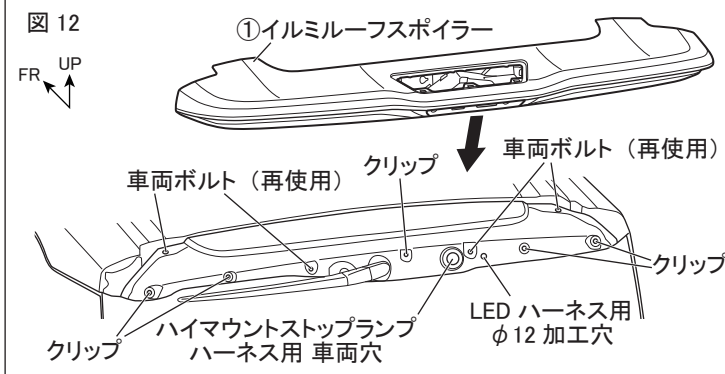
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。



👉アドバイス：穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。

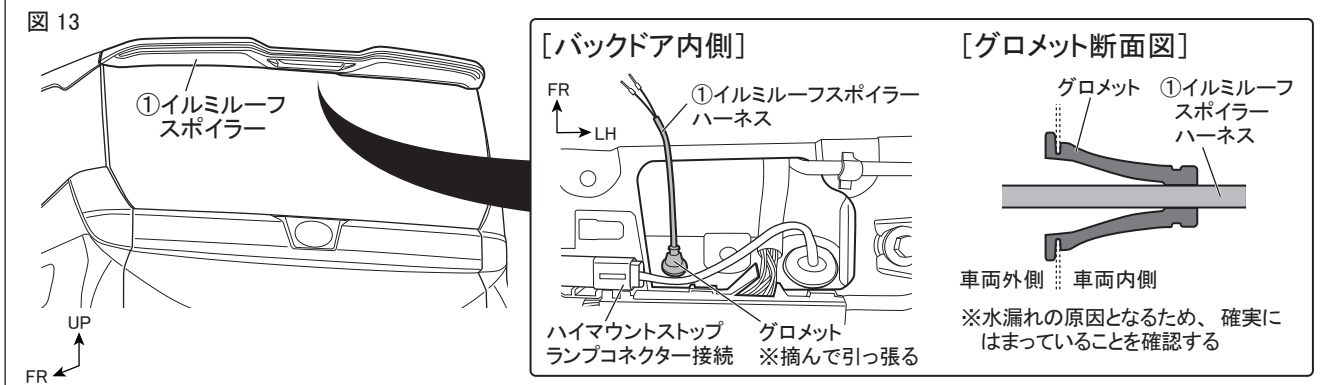


□イルミルーフスポイラー取付要領



1. 図 12 のようにバックドアにあけたφ12 加工穴に LED ハーネス、車両穴にハイマウントストップランプハーネスを通して①イルミルーフスポイラーをバックドアに於て、クリップを嵌合させる。(5箇所)
クリップが確実に嵌まっていること確認し、バックドア内側から車両ボルトを取り付け、指定トルクで本締めする。(4箇所)
その際、車両ルーフスポイラーを取り付けていたボルトの締め痕が目立つ場合は、タッチアップを施工する。
[車両ボルト締め付けトルク : 5.0N・m]

2. 図 13 のようにバックドア内側から①イルミルーフスポイラーのハーネスを引き出しながらグロメットを引っ張り、φ12 加工穴に嵌め込み、ハイマウントストップランプのコネクターを接続する。



3. 図 14 のように①イルミルーフスポイラーのハーネス先端の端子 (2本) を⑤コネクターハウジングに「カチッ」と音がするまで差し込み、⑥コネクターホルダーを⑤コネクターハウジングに取り付ける。

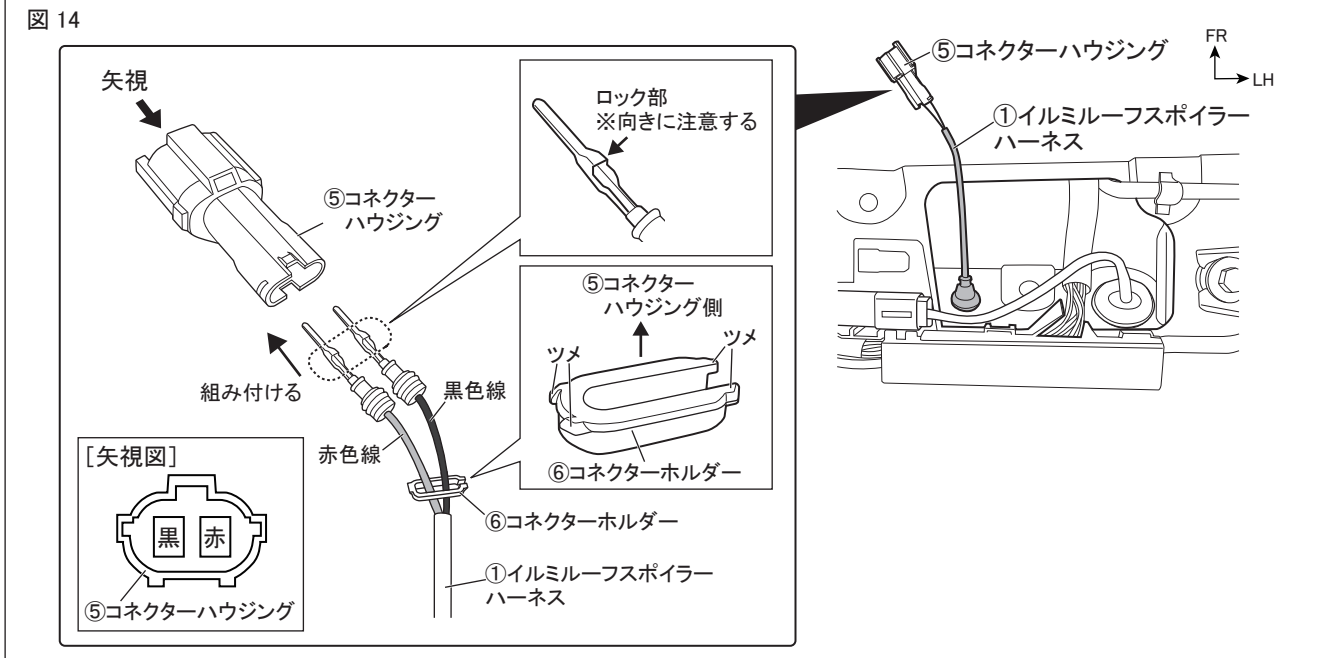
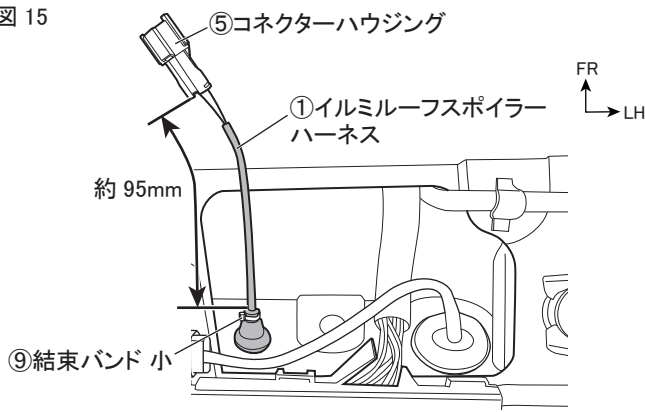


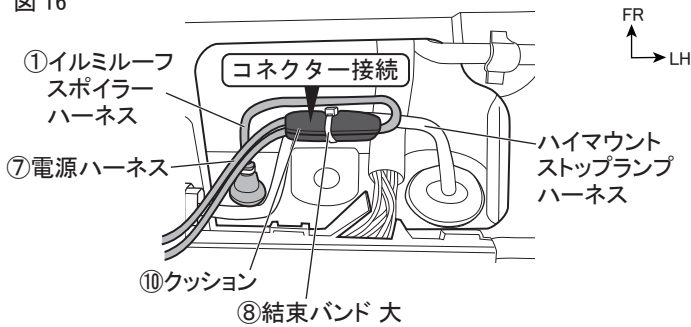
図 15



4. 図 15 のように①イルミルーフスポイラーのハーネスの余長を約 95mm に調整し、グロメット先端部に⑨結束バンド 小で締め付ける。(1箇所)

△注意：余長調整の際にコネクタを引っ張らないでください。

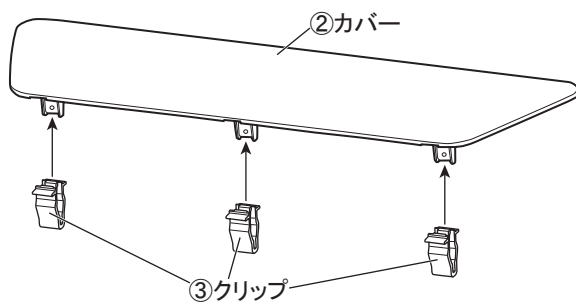
図 16



5. 図 16 のように①イルミルーフスポイラーのハーネスコネクタと⑦電源ハーネスのコネクタを接続し、⑩クッション (残 2/3) を接続部に巻き付けてハイマウントストップランプのハーネスに⑧結束バンド 大で固定する。(1箇所)

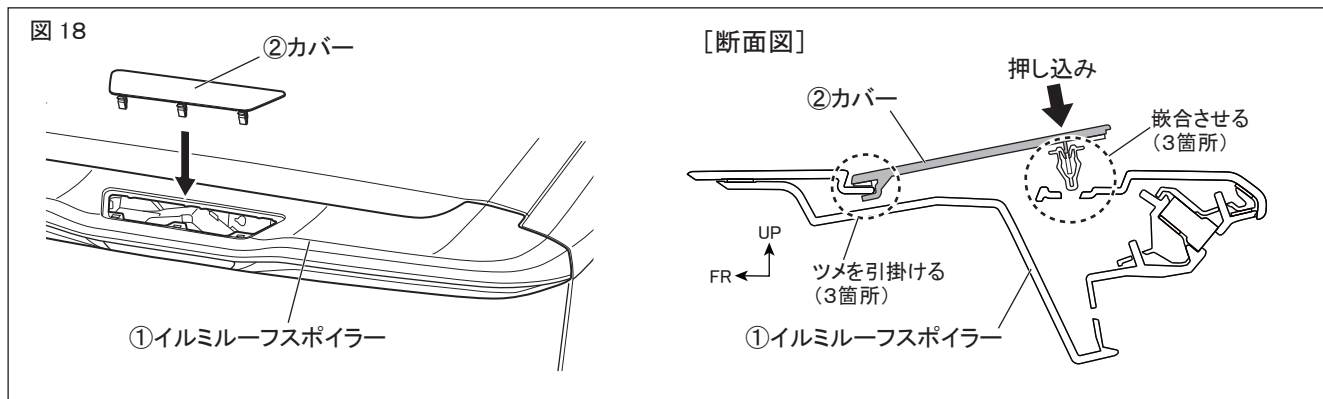
6. バックドア内側に配策した⑦電源ハーネスの余長を調整し、8 ページ 作業 1. で仮固定した⑧結束バンド 大を本締めする。(5箇所)
7. ①イルミルーフスポイラーが確実に装着されていることを確認し、バッテリーのマイナス端子を接続してエンジンを始動し、クリアランスランプを ON にして LED ランプおよび、ハイマウントストップランプの点灯確認を行う。
8. 該当車両の修理書に従い、バックドアのトリムカバーを復元する。

図 17



9. 図 17 のように②カバー下面のツメに③クリップを取り付ける。(3箇所)

10. 図 18 のように①イルミルーフスポイラーに②カバーを取り付ける。(1箇所)



■イルミルーフスポイラー取り付け後の確認・注意事項

- ・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
- ・クリアランスランプ ON の状態にしてランプの点灯確認を行う。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びイルミルーフスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
4. 作業終了後は各システムの設定・確認を行ってください。
(車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定 / 作業」を参照)

■ 未塗装品の取り扱いについて

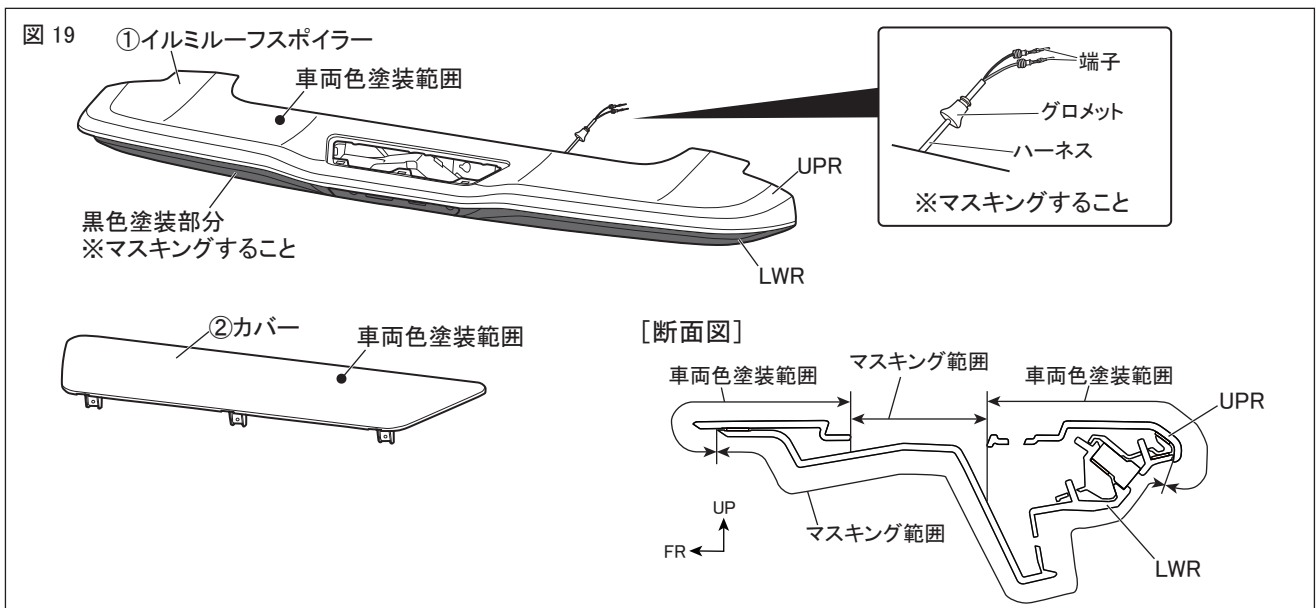
下記は未塗装品 (MSD42-28002-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△注意: ①イルミルーフスポイラーの LWR 側は黒色塗装を実施してあります。
塗装は①イルミルーフスポイラーの UPR 側と②カバーのみ実施してください。

△注意: ①イルミルーフスポイラーの UPR 側と②カバーは下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。
塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

□ イルミルーフスポイラーの塗装

1. 図 19 のように①イルミルーフスポイラー、②カバーを車両色で塗装する。
※①イルミルーフスポイラー下方の黒色塗装部分、端子 / ハーネス / グロメット部分を確実にマスキングしてください。

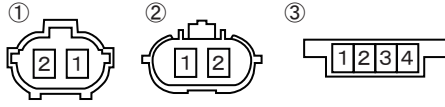


△注意: 本製品は〈ABS〉です。
乾燥温度を 60°C 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。
上塗り用の塗装にはウレタン系をご使用ください。

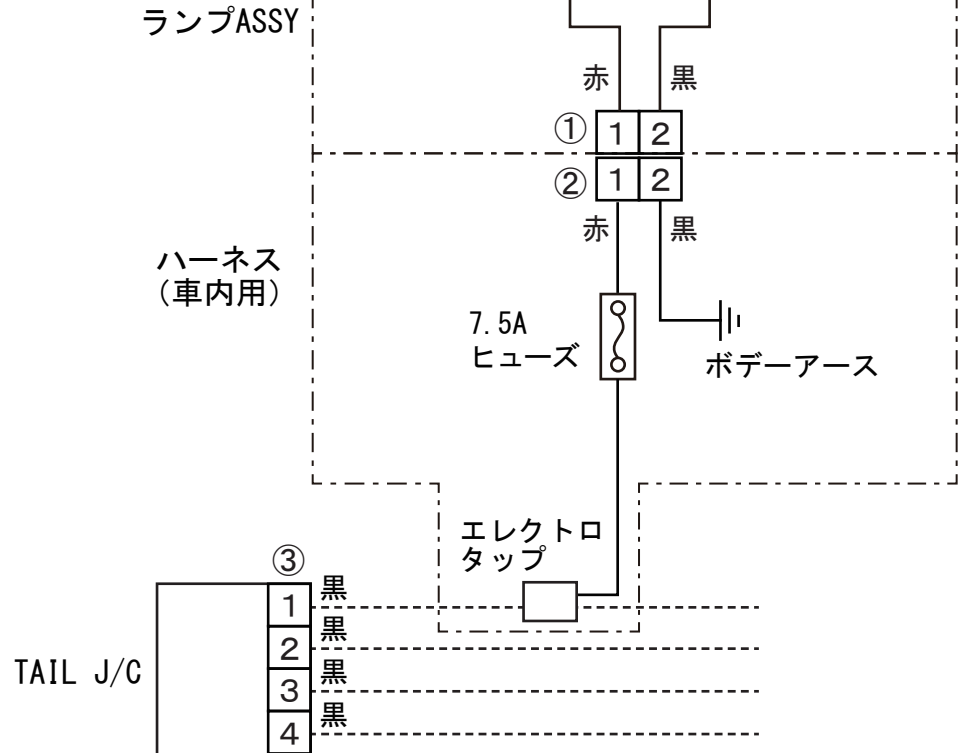
配線図

車両ハーネス -----

用品ハーネス —————



※上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しております。



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

モデリスタ商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

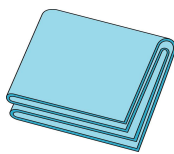


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



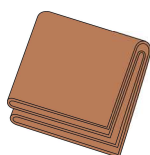
合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

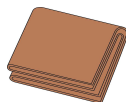


水拭き用バケツ



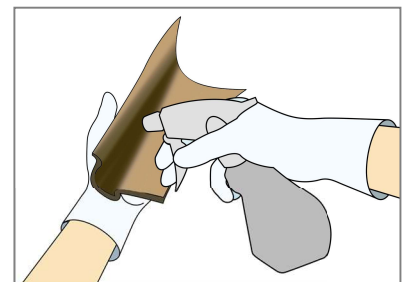
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

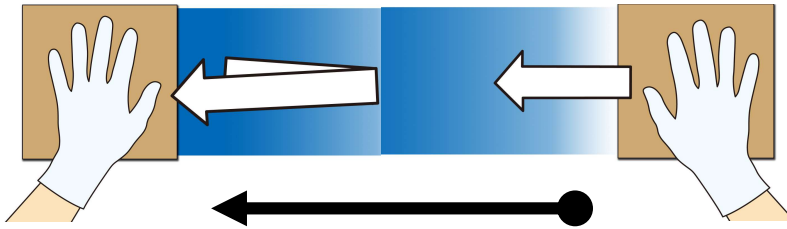
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

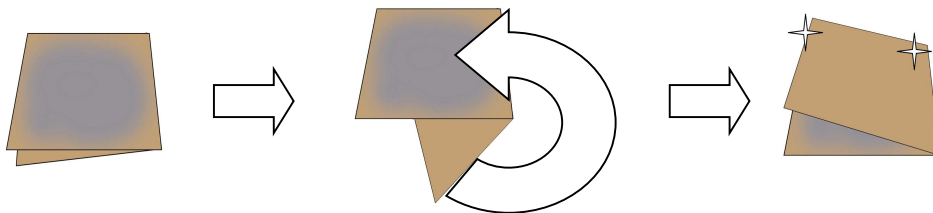
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。